



ふくろう通信

第72号

2024年1月1日
自然博物館 ねいの里

新年 ご挨拶

館長 荒屋健治

あけましておめでとうございます。皆様には、お健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は、新型コロナ感染症の5類移行により日常を取り戻しましたが、7月の豪雨、ひと月以上も雨の降らない猛暑など異常気象に翻弄され、更に、秋には、ツキノワグマの大量出没が発生しました。

ねいの里では、有害鳥獣の被害防止に取り組むことも自然を守り育てる重要な役割であることから、出没情報を分析し、ブナ、ミズナラなど堅果類の不作に加え、放置された里山林や河川の藪がクマの進入路となり、収穫されないカキの実が誘引物となることも一因であると、その対策を、県、市町村、マスコミなどを通じて発信に努めました。

今回の出来事を契機に、河川や里山の環境と、そこに住む生物と人の営みの関わり合いを知っていただき、様々な生物が自然の中でお互いに補い合いながら、故郷の豊かな自然を形づくっている。このような自然の理に想いを馳せていただきたいと考え、今年も、様々な展示やプログラムを提供し、自然に親しみ、楽しく学んでいただけるよう、スタッフ一同、心がけてまいります。

皆様にとって、鯉が滝を遡上し、龍となって大空に飛翔する一年となるようお祈りするとともに、ねいの里に対しましても、今までと同様のご理解とご支援をお願いして、新年のごあいさつといたします。



ねいの里写真コンテスト 人気投票中

コンテストに応募いただいた写真は、1/8 まで展示館内に掲示しています。現在、人気投票真っ最中で、多くの来館者から投票をいただいています。

応募写真には、生き物のちょっとしたしぐさやねいの里の光景、高度な撮影技術の写真など様々なものがあります。

投票期間が残りわずかですが、ぜひ、来館して投票してください。見るだけでも面白いと思います。

お待ちしております。

《今後の予定》

投票締切；2024/01/08

結果発表；2024/01/10

表彰式；2024/02/10(入賞者はジビイベントにご招待)

入賞作品展示；2024/01/11～2024/03/31



ホウホウクイズ；写真コンテストの応募数は何件だったと思うかな？

ねいの里ホームページがリニューアル！！

もうご存知の方も多いかと思いますが、12月からホームページが新しくなりました。以前のホームページにあった情報に加え、年間の休館日カレンダーや年間行事も確認できるようになり、ねいの里からの情報が皆様が届きやすくなったかと思えます。

ブログに加え、見やすくなったお知らせやホーム画面の X(旧 Twitter) から展示館や園内の近況も確認できます。近く催す行事の詳細や、季節の移り変わりに伴う動植物の様子をチェックしていただき、是非ねいの里に遊びに来てネッ！



新しいトップページじゃ！
なかなか良いの〜ッ！！



外来生物の話④

ミシシippアカミミガメ



分類；カメ目 ヌマガメ科 アカミミガメ属

原産地；アメリカ合衆国中南部

国内分布；北海道の一部を除く全土

特徴；背甲は緩やかなドーム型で、背甲全体は緑褐色。左右の肋甲板の中央には幅の不規則な縦筋模様が入り、周囲にはそれを囲むように幾筋かの歪んだ環状模様が入る。腹甲は淡黄色の地に、暗緑色の複雑な模様が入る。眼の後方には鮮明な赤色の帯状模様がある。

わが国への移入の経緯・状況

- 1950年代後半から幼体を「ミドリガメ」の通称でペットとして輸入。屋台で販売される。
- 1990年代半ばに輸入量は年間100万匹であったが、近年は5万匹以下
- 全国の世帯における飼育数は約110万世帯で約160万匹と推定（2019年）

《生態》

雑食性で、水性植物や岸辺の植物・果実類・花などの植物質や水生昆虫、水生甲殻類、水生・陸生貝類、小型魚類などやそれらの屍骸、動物の屍骸など、幅広い食性をもつ。成体では水草などの植物質の割合が高いという。幅広い環境に適応しやすく汚水にも強い上、外敵も少ないなどの要因で定着しやすい。世界各地で在来のカメ類だけでなく現地の生態系に大きな影響を与えつつある。

交尾期は、3～5月。雄の交尾行動が、水面で雌の前で両前肢を伸ばし細かく震わせ、身体を左右に揺らすので面白い。

また、アカミミガメは、サルモネラ症の感染源となる場合があるほか、大きな個体は攻撃的で、噛みつかれたり爪で引っ掻かれたりすることがあるため、むやみに野生の個体を触るのは危険である。

《特定外来生物に指定(2023年6月から)》

アカミミガメとアメリカザリガニについては、外来生物法の規制の一部(下図)が適用除外となり、一般家庭等での飼養や少数相手の無償譲渡等については、許可無しで行うことができます。



捕獲



飼育



無償譲渡



放出



販売・購入・頒布

しかし、どのような理由であっても、野外に放したり逃がしたりすることは違法です。

ねいの里 行事報告

● (10/15) 森で遊ぼう in ねいの里



応募者多数により約 4 倍の競争率となりました。森のこども園の皆さんが中心となって子供中心の活動で楽しい企画でした。

木の実入れバックを作ったり、ビンゴゲームや宝探しなど、楽しい遊びが盛りだくさん！

最後には、ゲームの賞品のマシュマロを焼いて食べました！



● (11/3) 雑木林探検

切枝体験、薪割り、焚火、木登り体験など盛りだくさんの企画で、多くの参加申込みがありました。



切枝体験



薪割り



焚火



木登り体験

● (11/12) ちびっこ自然体験④



今回は、雨のため屋外活動は中止となりました。でも、事前に捕獲していたカマキリなどを皆で触りながら生態の話を聞き、ハクチョウクイズなどで楽しみました。最後は、雨も上がリクイズの景品のマシュマロを外の焚火で焼いて食べることができて、子供たちは大喜びでした。



今年のちびっこ自然体験はこれが最後でしたが、来年も楽しんでもらえるよう頑張ります。

● (12/10) ミツロウシートでキャンドル作り

(共催;自然塾の会)



新企画です！！

親子で体験できて、自宅で楽しめるミツロウキャンドルです。

火を使わず、はさみとクッキー型だけでキャンドルが出来上がり、皆さん大喜びでした。

ミツバチの話が聞けて勉強にもなったし、なんと素晴らしい企画で賞！！



ねいの里 これからの行事案内

● ～ 1月8日(月) ねいの里公募写真展 人気投票

時間：9:00～17:00 場所：ねいの里 展示館

対象者：ねいの里来館者

投票方法：備付けの投票用紙に、お気に入りの写真番号を2点まで記載し、投票箱へ入れるだけ。

ねいの里で撮影された貴重ショットや微笑ましい一瞬など多くの応募写真を展示しています。1/11から、入賞作品などの展示も行われます。ご来館をお待ちしています。



● 1月5～6日(金、土) 春の七草頒布と正月遊び (共催：自然塾の会)

時間：各日9:00～17:00 場所：ねいの里

対象者：一般(要予約)

定員：先着50セット 値段：1セット300円(1家族1セット限り)

今年は、ハハコグサとセリの発育が悪く50セットしか作れませんでした。

購入しなくても実物展がありますので、見に来てください。

恒例の正月遊びも準備しています。七草実物展を見た後、正月遊びを堪能してください。



● 2月10日(土、祝) 動物の体を調べてジビエ料理を楽しむ (自然塾枠あり)

時間：9:00～12:30 場所：ねいの里

対象者：小学生以上(小学生は保護者同伴) 参加費：試食200円/食(自然塾会員100円)

定員：30名(保護者含む)

イノシシやシカの体の構造の見学後、鳥の手羽先骨格標本作りや樹液シロップの採取をします。ジビエ料理の試食もお楽しみください。

今回は、写真コンテストの表彰式も行います。



******* <行事への参加希望の方は、ねいの里までお申し込み下さい> *******
受付期間は、行事实施日の1ヵ月前から1週間です。

自然塾の会からのお知らせ

- 1月21日(日) 自然塾の会 カンジキハイク 時間：9:30～12:00 場所：ねいの里
- 2月10日(祝) 自然塾の会 運営委員会 時間：13:00～14:00 場所：ねいの里
- 3月21日(祝) 自然塾の会 春見つけ、総会 時間：9:30～14:00 場所：ねいの里

■ 特別展示

- 11/01～01/08 ねいの里写真コンテスト 人気投票
- 12/15～01/15 春の七草実物展
- 12/22～01/28 富山県ナチュラリスト協会写真展
- 01/11～03/31 ねいの里写真コンテスト 作品展示

○ 「ねいの里自然塾の会」会員のナチュラリスト駐車場利用について

会員の方は、駐車許可証が必要となりました。許可証は会員証とともにお届けしますので、利用時は車内の見えるところにおいてください。

発行 富山県自然博物館ねいの里 館長 荒屋 健治
〒939-2632 富山県富山市婦中町吉住1-1
Tel ; 076-469-5252 / メールアドレス shizen@toyamap.or.jp
ホームページ <http://www.toyamap.or.jp/shizen/>



ホウホウクイズの解答：22件じゃったぞ。子供が3人も応募してくれたんじゃ。
館内に展示しているから、見に来たらどうじゃ。おもしろいぞ～。